

令和四年度 経営研修会

経営力向上のために、今取り組むべき課題

2022年5月15日(日)
午後12時30分～(受付開始)

会場

一般社団法人 神奈川県歯科技工士会 大会議室

「これからの 組合のあり方と歯科技工の経営改善」

リレートーク

① 鎮野 政孝 先生

神奈川県中小企業団体中央会 組合支援部 部長

② 小室 洋樹 先生

株式会社トライスターズ 代表取締役

休憩15分

「社会保険歯科診療における 歯科技工関連部門の知識」

講師

青木 彰 先生

公益財団法人 日本歯科技工士会公認

「これからの 組合のあり方と歯科技工の経営改善」

リレートーク

① 鎮野 政孝 先生

神奈川県中小企業団体中央会 組合支援部 部長

② 小室 洋樹 先生

株式会社トライスターズ 代表取締役

歯科技工業界は、利益率の低下、長時間労働が課題となっている。組合は共同事業でその状況を打開できるか。組合だからできること歯科技工士だから協力できることを考えていきます。今回、神奈川県中小企業団体中央会の組合ビジョン作成事業を活用し、中小企業診断士の小室洋樹氏とともにヒアリングした結果の取りまとめ並びにこれからの組合の方向性を探っていきます。

「社会保険歯科診療における 歯科技工関連部門の知識」

講師 青木 彰 先生

公益財団法人 日本歯科技工士会公認

国民健康の安心安全で質の高い医療の実現を目指して2022年(令和4年)4月1日から社会診療報酬の改定が行われました。私たち歯科技工士に関連する歯冠修復及び欠損補綴に関する改定内容については、ファイバーコア、レジンインレー、有床義歯(局部義歯、総義歯)、鑄造鉤(双子鉤、二腕鉤)、線鉤、コンビネーション鉤、バー等の制作点数が厚生労働省実施の歯科技工料調査の結果に基づいて造点されるとともに、保険医療材料として期中適用されていたCAD/CAM冠前歯への対象拡大、チタン冠、磁性アタッチメントの区分整理と増点、レジン前装チタン冠、CAD/CAMインレー等の新規保険収載等、歯科固有技術n評価の見直しが行われています。国民健康の安心安全で質の高い歯科補綴物の安定供給するために歯科医療機関と、受託する歯科技工所の双方が、保険点数の仕組みについて共通認識のした、適正な歯科技工料金での委託、受託が行われなければなりません。

会場

一般社団法人
神奈川県歯科技工士会
大会議室

〒220-0023 横浜市西区平沼1丁目40番17号
モンテベルデ横浜201

TEL. 045 (548) 5889
FAX. 045 (548) 5899
E-mail : dta@kanagawa.email.ne.jp
<http://www.kdta.or.jp>